

2000年8月28日

株式会社クラレ

## 熱可塑性エラストマーの事業拡大戦略について 米国に新工場を建設

当社はこのたび、熱可塑性エラストマー（水素添加スチレン系エラストマー：当社商標〈セプトン〉〈ハイブラー〉）事業拡大のため、米国のテキサス州パサデナ（ヒューストン近郊）に年産12,000トン規模の新工場を建設することを決定致しました。さらに、今後計画される鹿島工場の増設と併せ、2005年には日米トータルで年産50,000トン体制に増強する構想です。

これは、省エネルギー、リサイクル、脱塩ビ、脱溶剤等の環境問題の流れの中で世界的に成長を続ける当事業の世界戦略の一環と位置づけられるものです。また、現地自治体より本投資に対する経済的支援の約束を頂いたことも、今回のテキサス州パサデナへの進出決定の大きな要因となっております。

熱可塑性エラストマーは優れた弾力性を持った合成ゴムで、通常のプラスチックと同様に、加熱による成形加工が可能で、加硫ゴム代替や軟質塩ビ代替などを中心として様々な用途に使用されています。加硫ゴムのような硫黄を加える工程が不要なため、生産性が良くトータルコストダウンにつながり、また軟質塩ビのように塩素、可塑剤を含まないため、近年の環境問題に対する意識の高まりから、米国、欧州、日本を中心に急速に代替が進んでいます。

用途としては、自動車内装や電気機器部品、住宅部材関連等のほか、玩具、工具、文具等の身の回りにある軟質素材として広く使われています。さらに、ポリプロピレンと混ぜて得られる透明軟質材料は、その特長を生かし食品包装やメディカル機器等の用途で成長を続けております。またエンジニアリングプラスチック（自動車や電子材料として使われる耐熱性高強度プラスチック）の衝撃強度改良など、硬質プラスチックの脆さを補う改質剤用途でも市場が拡大しております。世界市場は1999年度で年間60,000～70,000トン（当社推定）で、今後も年率10%以上の成長を続け、4～5年後には10万トンを超えると予測しております。

この市場成長に対応し、当社は鹿島工場での生産能力を、1997年からの3年間で年産9,000トンから19,000トンへ増設し、さらなる増設を予定しておりましたが、需要が一層拡大する中、最大マーケットである米国での新工場（年産12,000トン、2002年第3四半期に稼動、設備投資額約80億円）の建設を先行して実施することを決断致しました。

さらに今後の需要の増加に合わせ日本及び海外で順次増強し、2005年には年産能力50,000トン体制とし、年間売上高250～300億円を目指します。

以上

<新工場建設の概要>

1. 建設場所：米国テキサス州パサデナ（ヒューストン近郊）  
当社グループのエバルカ社<エバル>工場の隣接地
2. 生産能力：12,000 トン/年
3. 設備投資額：約 8 0 億円
4. 新工場の運営方式：  
製造及び販売・技術サービス機能を併せ持つ現地法人を設立、運営予定

<主な用途とその代表例>

用途	具体的使用例
自動車	内装表皮、グリップ、インパネ、ホイールカバー、ウェザーストリップ、制振部品
電気機器	冷蔵庫ガスケット、掃除機キャスター、各種パッキン、電線被覆、ICトレイ、電話機コード
住宅・家具	窓枠、合板被覆、目地材
食品包装	PET ボトル栓のパッキン、ワインコルク、飲料チューブ、食品ラップ、食品トレイ
メディカル	チューブ、輸液バッグ、薬栓
粘接着剤・シーラント	紙オムツ、生理用品、自動車用シーラント
雑貨・その他	グリップ（歯ブラシ、工具、文具等）、玩具、スポーツ靴、水中メガネ